

令和7年度 AJEEP Scheme 4 CSM&AMのTrial Runの 総括会議を実施

【事業概要】 一般財団法人省エネルギーセンターは、資源エネルギー庁の委託を受けて、令和7年度のASEANに対する省エネ人材育成事業のAJEEP Scheme 4の最終活動として、今年度実施した CSM*1 Trial RunとAM*2のTrial Runの研修結果とそれらの評価結果のまとめの総括会議をASEAN各国の政府関係者とエネルギー管理士研修機関関係者並びに両研修の参加者と令和8年2月2日にオンラインで実施しました。



1. 経緯と目的：AJEEP Scheme 4ではASEANの地域共通となる標準的なエネルギー管理士認定研修科目（CSM）とCN（Carbon Neutrality）人材を育成する先進的な科目（AM）の開発・確立を、2022年度から4カ年計画で推進していますが、この3カ年、ECCJはAMS 10カ国のSAEMAS*3 WG及びACE*4に対し技術面から支援してきました。最終年度となる今年度は完成したCSMとAMの研修を一通りオンラインあるいは日本での招聘研修でTrial Runとして実施し、研修生にはその認定評価を行うと共に、ASEAN各国の政府関係者やエネルギー管理士研修関係者あるいは研修参加者には研修テキストや運営法などを評価して報告書を提出してもらい、その内容を今回の総括会議で確認の上、CSMとAMの最終化に向けた議論を実施する。
2. 参加者：ASEAN9カ国とACEよりCSM Trial Run及びAM Trial Run参加者を中心に40名がオンライン参加。ECCJからは11名が参加。
3. 会議概要と結果：
 - (1) CSM Trial Runの結果をACEとECCJから報告し議論をした。研修結果では25名がすべての科目を修了し2つの試験と診断報告書の評価結果合格しASEAN EMP*5を認定することになりました。また各国の評価者からは6つの観点から評価してもらいましたが、概ね良好な評価を受けると共に、自国の現状に応じたCSMの導入・適用計画を示してくれました。
 - (2) AM Trial Runの結果もACEとECCJから報告し議論をした。AAT*6より選定された12名が参加しCN関係の講義・演習・視察及び試験を受け、全員が合格となりASEAN S-EMP*7を認定することになりました。評価では講義内容等への指摘があり、見直して最終化を図る予定です。
 - (3) ASEANでのエネルギー管理士制度の整備6カ国と準備中の4カ国のエネルギー管理士研修内容をCSMと比較した結果のASEAN EMP資格の見なし認定、あるいはそれに向けた補完履修科目をECCJより示し合意されました。当該研修制度の進んだシンガポールとタイの有資格者はCSMをクリアしたと見なしました。これで今後より多くのASEAN EMPを認定する基盤が出来ました。
4. 今後の予定：テキストの最終化を進めると共に、今回のまとめを来月4～5日にジャカルタで開催されるAJEEP Post & Summary Meetingで報告する予定です。 以上

*1：CSM；Common Standard Module,

*2：AM；Advanced Module

*3：SAEMAS；Sustainable ASEAN Energy Management Certification Scheme

*4：ACE；ASEAN Centre for Energy

*5：EMP；Energy Management Professional

*6：AAT；ASEAN AJEEP Trainer